



協定書を手に握手する相川さいたま市長(左)と、佐藤岩槻市長(右)

市長あいさつ

さいたま市長

相川 宗一

ただ今、さいたま市と岩槻市との合併協定書への調印を滞りなく終えることができました。これもひとえに上田知事をはじめ、本市並びに岩槻市の議員の皆様、そして多くの市民の皆様のご理解、ご協力によるものと心から感謝申し上げます。

また、合併協議会委員の皆様には、昨年7月の任意合併協議会の設置

から1年余り、真摯で前向きな取り組みにより、極めて順調に協議が進められ、本日調印式を迎えられたことにつきまして、ここに改めてこれまでのご尽力とご協力を敬意と感謝申し上げます。

この間、両市の合併に関する多くの協議項目について、委員の皆様をはじめ、両市議会の慎重なるご協議をいただき、本日、めでたく合併協定書の調印に至りましたことは、誠に感慨深いものがございます。

合併後は、地域の将来を見据えた長期的な視点に立ち、一体的、計画的なまちづくりを進め、関東の中核都市として拠点機能の充実をより一層図るとともに、保健・福祉・環境・教育など身近な行政サービスの更なる充実を努め、市民の皆様にご心から喜んでいただけるような市政を推進するよう、決意を新たにしております。

今後は、所定の手続きを経て、来年4月1日の合併を目指すこととなりますが、皆様方には、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

岩槻市長

佐藤 征治郎

ただ今、公私とも大変ご多忙の中、

上田埼玉県知事さんをはじめ、協議会委員、両市議会議員の皆様、そして、執行部の方々をお迎えし、両市長の間で滞りなく合併協定書に調印をさせていただきます。

さいたま市と岩槻市との合併協議の経過につきましては、昨年1月に住民投票を実施し、さいたま市に合併協議の申し入れをさせていただいて以来、1年8か月にわたり、14回の協議会を経て、本日合併協定書の調印が終了しました。

岩槻市民の願いが着実に実を結ぼうとしておりますことは、私としても、誠に喜ばしいことであり、感無量なものがございます。

両市の合併は、百万都市と十万都市との合併ということで全国的にも注目度が高いわけですが、岩槻市の多様な地域資源をさいたま市の新たな魅力としていただき、新さいたま市が政令指定都市として、また、首都圏の一翼を担う都市として一層の発展が遂げられますよう、今後も引き続き合併実現に向けて最大限の努力をしまいたいと考えております。

ご関係皆様におかれましては、今後ともお力添えを賜りますことを最後にお願い申し上げます。合併調印式にあたってのごあいさつとさせていただきます。



立会人として署名する合併協議会委員